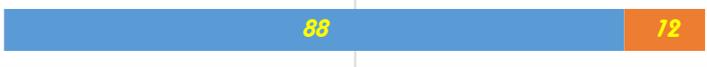
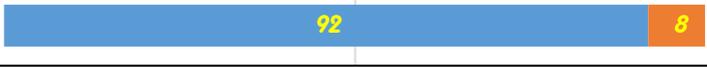
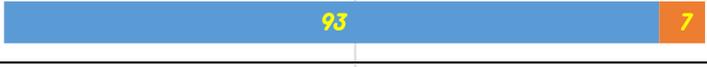
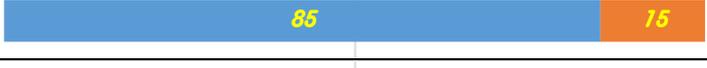
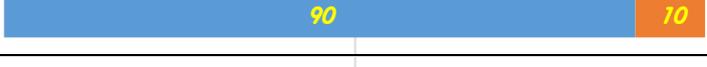
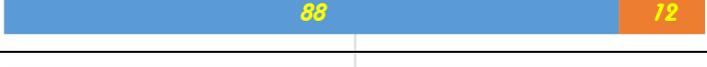
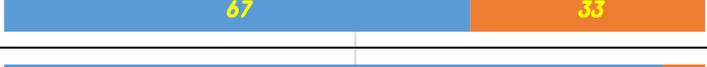
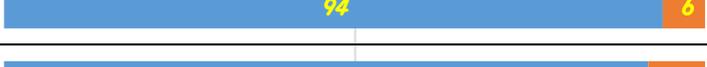
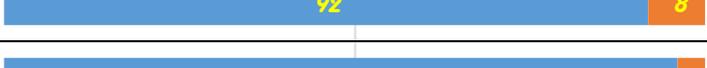
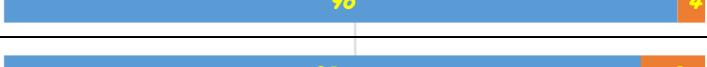
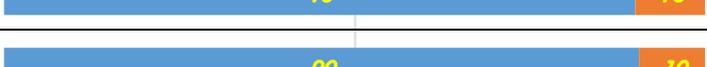
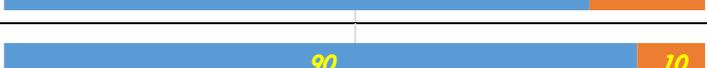
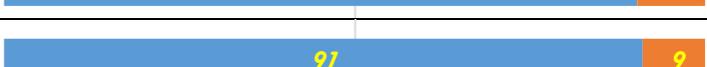


令和7年度第2回後期 学校評価アンケート（生徒編） 集計結果

NO.	質問内容	肯定 (%)	否定 (%)	肯定	否定
1	大山口中学校が好きですか。	88	12		
2	自分を大切にしていますか。	92	8		
3	誰にでも優しく接していますか。	93	7		
4	先生は個に応じて授業を工夫して教えてくれていますか。	85	15		
5	自分から授業に進んで参加していますか。	90	10		
6	授業はわかりやすいですか。	88	12		
7	家庭学習に意欲的に取り組んでいますか。	67	33		
8	学校のルール(基本的な生活習慣)を守っていますか。	94	6		
9	先生は相談に応じてくれますか。	92	8		
10	気軽に話せる友人がいますか。	96	4		
11	清掃は丁寧にできていますか。	97	9		
12	学校行事から学ぶことがありますか。	90	10		
13	生徒会活動や部活動、学級活動に意欲的に取り組んでいますか。	90	10		
14	学校目標と学年目標を知っていますか。	83	17		
15	学校からの情報を保護者に伝えてありますか。	90	10		
16	先生は生徒個々の特性やニーズに応じて接していますか。	97	9		
17					
18					
19					
20					
21					
22					

令和7年度第2回後期 学校評価アンケート（生徒編） 考察

1 肯定的な回答が多かったもの（前期との比較を含めて）

設問10「気軽に話せる友人がいますか。」に対して、96%（前期96%）の肯定的な回答が得られた。後期も良好な人間関係の構築を継続できていると考えられる。

設問2「自分を大切にしていますか。」では、92%（前期88%）、設問3「誰に対しても優しく接していますか。」では、93%（前期92%）の肯定的な回答を得られた。後期も高い水準を維持しており、好ましい状況であると考えられる。今後も継続して、豊かな人間関係作りを後押しできるようにしていきたい。

設問8「学校のルール（基本的な生活習慣）を守れていますか。」に対しても94%（前期94%）と高い肯定率となっている。次年度は、標準学生服が一新されるなど、変更点があるため、これまで以上にお互いが気持ちよく生活できる学校を目指していきたい。

設問9「先生は相談に応じてくれますか。」では92%（前期93%）の肯定的な回答が得られた。高い水準を維持しており、一定の評価ができる。教育相談や面談はもちろん、普段の生活の中で会話を多くしていき、さらなる生徒理解の向上に努めたい。

2 否定的な回答が多かったもの（前期との比較を含めて）

依然として学習へ対しての設問に課題が見られる。設問7「家庭学習に意欲的に取り組んでいますか。」において33%（前期35%）の否定的な回答が見られた。前期と比較するとやや好転はしているものの、改善が必要であろう課題のひとつである。継続した家庭学習への取り組み方の支援を通して、家庭学習への動機づけを向上させていきたい。

設問4「先生は個に応じて授業を工夫して教えてくれていますか。」においては15%（前期11%）の否定的な回答が見られた。加えて、設問6「授業は分かりやすいですか。」においては12%（前期13%）の否定的な回答が見られる。設問4は、前期に比べて否定率が上昇している。後期になって、進度が進むにつれ学習難度が上がっていく。生徒同士の学び合い（グループ学習）を継続しつつ、躓きやすい単元等においては、より分かりやすく興味関心を引く授業を目指していきたい。また、全国学力学習状況調査や白井市学力調査の分析を進め、本校の実態に即した授業改善を行っていきたい。

3 総合的に（前期との比較を含めて）

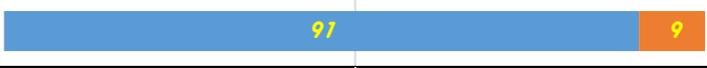
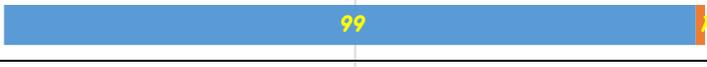
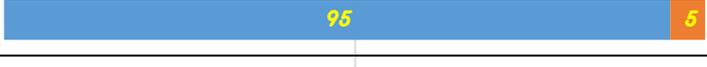
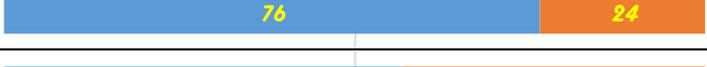
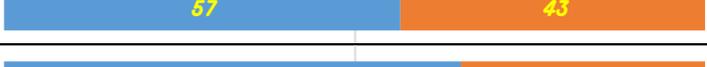
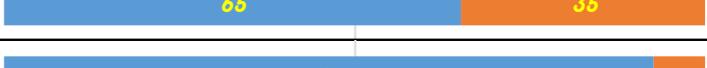
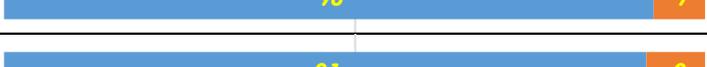
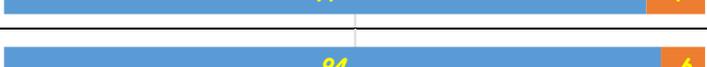
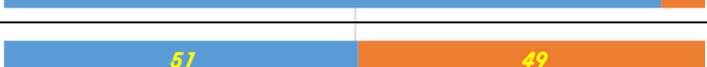
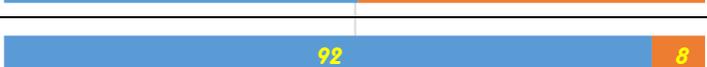
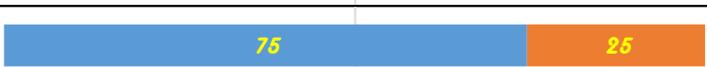
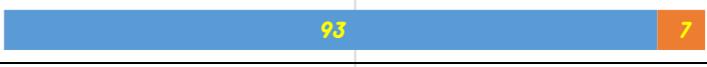
前期同様、全体的に多くの設問に対して肯定的な回答が得られた。多くの生徒が前向きに学校生活を送ることができていると推察される。ただ、前述したように学習面に対しては改善の余地があり、次年度へ向けての重点課題としていきたい。

設問14「学校目標と学年目標を知っていますか。」については、83%（前期86%）の肯定的な回答が得られた。前期と比較して、やや下降しているため、年間を通して学校目標や学年目標を浸透させられるように工夫していきたい。

設問16「先生は生徒個々の特性やニーズに応じて接していますか。」においては、91%の肯定的な回答が見られた。前期の90%から上昇している。今後も、より多くの目で生徒を見守れるような体制づくりと、個の発達段階の一層の理解に努めていきたいと考える。

その他、学校行事や清掃、学校生活の諸活動についての設問では、前期とほぼ同等の肯定的な回答を得られている好ましい状況である。今後も学校生活の諸活動をさらに良いものにしていくために、常に改善の視点を持って進化させていきたい。

令和7年度第2回後期 学校評価アンケート（保護者編） 集計結果

NO.	質問内容	肯定 (%)	否定 (%)	肯定	否定
1	お子様は大山口中学校が好きですか。	97	9		
2	お子様は自分を大切にしていますか。	99	7		
3	お子様は誰にでも優しく接していますか。	95	5		
4	学校は個に応じた授業を工夫していますか。	76	24		
5	お子様は意欲的に家庭学習に取り組んでいますか。	57	43		
6	お子様は授業がわかると言っていますか。	65	35		
7	お子様は学校生活のルール(基本的な生活習慣)が守られていますか。	93	7		
8	学校は保護者やお子様からの相談に丁寧に応じていますか。	97	9		
9	お子様には気軽に話せる友人がいますか。	94	6		
10	お子様は身の回りの整理整頓ができていますか。	57	49		
11	学校行事はお子様の成長に結びついていますか。	92	8		
12	お子様は生徒会活動(部活動含む)や学級活動に意欲的に取り組んでいますか。	84	16		
13	学校目標や学年目標は保護者に伝わっていますか。	75	25		
14	学校からの必要な情報が保護者に伝わっていますか。	85	15		
15	学校は保護者や地域からの願いに応じた教育をしていますか。	85	15		
16	学校は環境整備や安全への配慮ができていますか。	93	7		
17	学校は生徒個々の特性やニーズに応じた支援を行っていますか。	80	20		
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					

令和7年度第2回後期 学校評価アンケート（保護者編） 考察

1 肯定的な回答が多かったもの（前期との比較を含めて）

設問2「お子様は自分を大切にしていますか。」においては99%（前期97%）、設問3「お子様は誰にでも優しく接していますか。」においては、95%（前期95%）、設問9「お子様には気軽に話せる友人がいますか。」においては、94%（前期93%）の肯定的な回答が寄せられた。前期と比較して、上昇している数値であり、成果として捉えることができる。学校生活を送る上で良好な人間関係を形成することは極めて重要である。今後も、自他ともに大切にできる豊かな人間関係作りを手助けできるように努めていきたい。また、常にご家庭でも指導いただいている保護者の方々に感謝申し上げたい。

設問7「お子様からは学校生活のルール（基本的な生活習慣）が守れていますか。」においても93%（前期94%）の肯定的な回答が寄せられている。今後も保護者の皆様のご協力をいただき、継続して基本的な生活習慣の確立に向け支援していきたい。

2 否定的な回答が多かったもの（前期との比較を含めて）

前期と同様に、最も否定的な割合が高かったものが設問10の「お子様は身の回りの整理整頓ができていますか。」で、49%（前期47%）の否定的な回答が寄せられている。前期との比較をするとやや下降している。この項目については、前年度から学校生活における継続した課題のひとつであり、学校としても教室環境等の整備を強化したり、美化活動の活発化を目指したりと、少しずつでも向上させていきたい。

次に割合が高かったものが、設問5の「お子様は意欲的に家庭学習に取り組んでいますか。」の43%（前期40%）に次いで、設問6の「お子様は授業が分かっていきますか。」の35%（前期34%）である。また、設問4「学校は個に応じた授業を工夫していますか。」において、24%（前期21%）の否定的な回答の割合となっている。保護者の皆様には、成果を実感するまでには至っていないという実態があり、大変申し訳ない。次年度は、これまで以上に「分かる授業」を目指し、学習指導の工夫、授業改善に向けて取り組みを進めていきたいと思う。また、家庭学習への取り組みについても、有効な手立てを探していきたい。

3 総合的に（前期との比較を含めて）

肯定的な回答の割合としては決して低くはないものの、全体としては若干ではあるが下降している。やはり、学習に関わるいくつかの設問において課題があり、前期と同様に継続した改善が必要であると考え。生徒同士の学び合い（グループ学習）を浸透させ、自ら課題を見つけ解決できるように授業を改善していきたい。また、全国学力学習状況調査や白井市学力調査の分析を進め、本校の実態に即した授業改善を行っていきたい。

一方では、設問16「学校は環境整備や安全への配慮ができていますか。」については93%（前期93%）の肯定的な回答が寄せられた。また、設問17「学校は生徒個々の特性やニーズに応じた支援を行っていますか。」において、80%（前期79%）の肯定的な回答が寄せられ、前期より上昇しているなど、学校の体制へ関する項目においては、一定の評価をいただけたと感じている。保護者の皆様の厳しい目と学校への期待があることを受けとめ、今後もより分かりやすくスムーズな情報提供や保護者の学校行事への参画を進めていき、保護者の皆様のニーズに沿った学校運営ができるように努めていきたいと考えている。